

【 種・建築 例題1 】

事務所における机の配置形式のうち、対向式、並行式、ランドスケープ式について、その1人当たりの所要面積の一般的な大小関係として妥当なのはどれか。

1. 対向式＞並行式＞ランドスケープ式
2. 並行式＞対向式＞ランドスケープ式
3. 並行式＞ランドスケープ式＞対向式
4. ランドスケープ式＞対向式＞並行式
5. ランドスケープ式＞並行式＞対向式

【 種・建築 例題 2 】

型枠工事に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 型枠の剛性を確保するために、型枠と足場を緊結した。
2. 床スラブの型枠を支える支柱は、上下階で平面上の同一位置になるようにした。
3. 支柱として用いるパイプサポートは、4本継ぎとした。
4. 支柱として用いるパイプサポートの高さが3.6mであったので、水平つなぎの高さを2.5mの位置とし、2方向に設けた。
5. 梁下の支保工は、コンクリートの圧縮強度が設計基準強度の80%に達したことを確認した後に取り外した。